私たちが日ごろ感じていること

分かりやすく伝えることと、子ども扱いをすることは違うと知ってください

檜垣（ひがき）知子さん



私は知的障がいがありますが、ヘルパーなどの公的支援を受けながら一人で暮らしています。文字を読んだり、漢字を書くことはできても、言葉の意味が分からないことがあったり、自分の考えを言葉にして相手に伝えるのは苦手です。普段は、家事や買い物をするほか、プールで泳いだり、電車に乗って出掛けたりもします。最近戸惑うのは、スーパーのセルフレジです。お店ごとに使い方が違うし、後ろに人が並んでいると緊張して、余計に手間取ってしまいます。

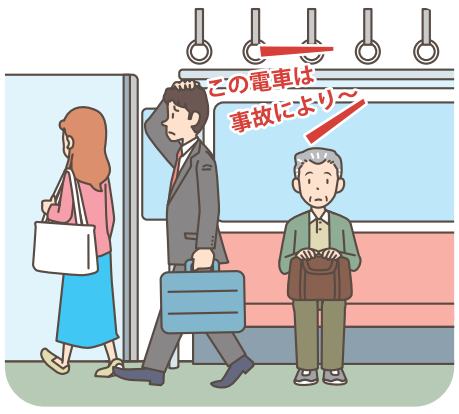
さらに、外見からは障がいがあることが分かりにくいため、相手に誤解されることもあります。「何で分からないの？」などと怒られると悲しくなります。話すときはゆっくり、分かりやすく話してもらえるとうれしいです。ただ、分かりやすく話すことと、子ども扱いをすることは違います。絵や矢印を使ったり、身ぶりで示したりしてもらえると、より理解しやすくなります。

私は10年後も、今の暮らしを続けたいと思っています。そのためにも、車いすを使う人や目や耳が不自由な人、ベビーカーを押す人、お年寄りなど、誰もが安心して暮らせるまちになってほしいです。

ちょっとした気付きが、誰かの力に

緊急放送が聞こえません。何が起こったのでしょうか。
（聴覚障がい者）

電光掲示板を指さしたり、筆談やスマホで状況を教えてください。



駅のホームは歩くのが怖いです。
（視覚障がい者）

「前に行くと危ないですよ」などと具体的に声を掛けてください。



読めない漢字があります。切符の買い方も分かりません。
（知的障がい者）

掲示を読み上げるなどして、情報の要点を教えてください。



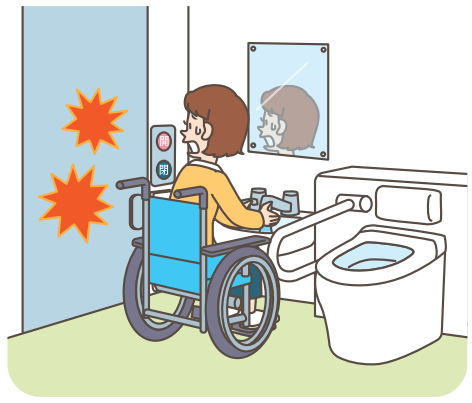
いつもと景色が違い、自分がどこにいるのか分からなくなってしまいました。
（視覚障がい者、知的障がい者）

「何かお困りですか」と声を掛け、サポートできることがないか聞いてください。



バリアフリートイレで、「遅い」と扉をたたくのはやめてください。
（車いすの方など）

バリアフリー（多目的）トイレは車いすやオストメイト（人工肛門・ぼうこうを造設した方）に対応したトイレです。そのため、時間がかかる方もいます。



令和9年度

『三鷹市手話言語及び障がい者の意思疎通支援に関する条例（仮称）』の制定を進めています

問障がい者支援課☎0422-29-9232

条例の目的

●**手話が一つの言語である**

「手話は言語である」という認識のもと、手話への理解を広げるとともに、その普及を進めます。

●**特性に応じた多様な意思疎通支援**

手話をはじめ、障がいの特性に応じたさまざまな意思疎通の手段や必要な配慮、支援について理解を広げます。

今後の予定

パブリックコメントを実施し、広く皆さんのご意見を募集します。詳しくは、今後の『広報みたか』などでお知らせします。